

無所属

ぜにや翔後援会

大阪府四條畷市岡山 2-1-4
エクセレントカーサ 102

12 2024
月号

えが みんなで描こう なわての未来

東
修平
市長 36歳



ぜにや翔
しょう 36歳



東市長が今まで安定した力強いリーダーシップを発揮して成し遂げてきた行財政改革や子育て支援によって生まれた人口の社会増等の良い流れは、今や市の基盤となっています。

今までの取組みを継承するのはもちろんのこと、未来への投資として、多様な市民の挑戦する心、ひいては未来を担う子どもたちの夢や情熱を支えたいと考えます。

こうした思いがこれからの四條畷の大きな力になると信じて、なわての未来をともに描きたくなるリーダーとなってまいります。

銭谷 翔

えが みんなで描こうなわての未来

挑戦を応援



1 いつになっても活動したくなる“なわて”

- 体操教室やレクリエーションなどを通じた健康寿命の延伸
- 生涯学習活動を促進する環境整備

2 働く世代が元気あふれる“なわて”

- 既存事業者の働き手不足対策を推進
- 若者や女性の創業を支援

3 こどもが夢や目標を持てる“なわて”

- 部活動や習い事への支援制度を創設
- 個性を伸ばす教育環境づくり



ふるさと納税で、未来への投資の財源確保



日本一前向きな「市役所」から、日本一前向きな「市」へ



安全と安心

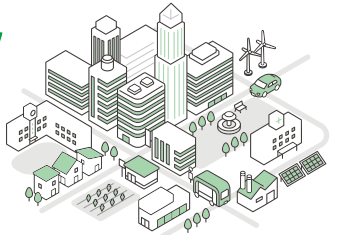


1 人とまちと自然がつながる“なわて”

- 生活や通学で通る道路の安全を確保
- 忍ヶ丘駅・四条畷駅周辺や緑豊かな公園の整備

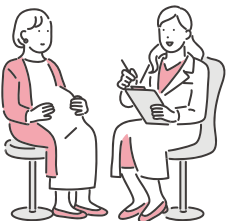
2 いのちと生活を守る“なわて”

- 避難所の機能強化と支え合い体制の構築
- 移動課題の解消と物価高騰への支援



3 子育て世帯が笑顔で過ごせる“なわて”

- 妊娠期からの切れめない支援と相談体制の拡充
- 保育所とふれあい教室の待機児童ゼロ



すべての市民の声に耳を傾ける「対話」を实践



親子孫三世代が希望を持って暮らせるまちへ

ぜにや翔の略歴

妻・息子2人と江瀬美地区に在住

生年月日 1988年(昭和63年)8月19日

出身校 四條畷学園幼稚園
四條畷学園小学校
四條畷学園中学校
東大阪大学柏原高等学校
中央大学 法学部法律学科

職歴 トナミ運輸株式会社
和歌山県有田市役所
四條畷市役所

1988年

8月19日生まれ

四條畷市 田原地域出身

- 四條畷学園幼稚園 卒園
よく走り よく転び 怪我をたくさんした幼少期
- 四條畷学園小学校 卒業
バドミントン部創部以来 初の全国大会出場
- 四條畷学園中学校 卒業
主将を務め創部以来初となる
全国大会優勝を果たす
- 東大阪大学柏原高等学校 卒業
大阪一の強豪校に進学
全国大会3位入賞



2007年

中央大学 法学部 法律学科 入学

勉学とバドミントンに没頭する学生生活を送る。全国大会3位入賞、17年ぶりのリーグ優勝を果たす。学生のオリンピック ユニバーシアードに日本代表として出場5位入賞、日本代表入り



2011年

トナミ運輸株式会社 入社

日本一連覇、日本代表として2012ロンドンオリンピック同行 海外を転戦。怪我を機に違う環境で挑戦したいと思いとまちづくりに関心があり、転職を決意



2014年

和歌山県有田市役所 入庁

教育委員会 経営管理部 経済建設部で様々な経験を積む。ふるさと納税において、約2倍の3.5億円を増額し、楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2016ふるさと納税賞を受賞



2019年

四條畷市役所 入庁(2024年11月退職)

地元に貢献するために四條畷へUターン、総合政策部、財務部に従事。行財政改革や財政構造の健全化を進め「未来への投資」に向けた取り組みの一端を担う





なぜ、四條畷市のリーダーをめざそうと思ったのですか。



職員として、9月24日に市長の退任を知り、ショックを受けたことを覚えています。その翌日に、市長が後継者を全国公募するというニュースを見て、職員としては「次の市長は誰になるのだろう」、市民としては「良い人が来たらいいな」と考えている自分に気づきました。その後、「東市長は、自分たちのまちを自分たちの手で良くしていこうという思いを持った人を増やしたい、そんな思いでこのような取り組みを始めたのではないか」と思うに至り、だとしたら**他人任せになっている場合ではないと考え、今回の挑戦を決意しました。**



公務員という安定した立場を投げ打っての挑戦は誰にでもできることではないので、率直に驚きました。しかし、市民の中には政治家としての経験不足などを心配される方もおられると思います。そのような声にどう答えますか。



もちろん、まだまだ足りていない部分はあるかも知れませんが、**バドミントンで培った努力し続ける力**には自信があります。市民や職員の皆さんとの対話を通じて、多くの皆さまの知恵や力をお借りしつつ、東市長の指導も受けながら、市政を前に進めていく所存です。誰もが初めて手を挙げた時には政治経験はありません。逆に、**完全無所属でしがらみがないからこそできる取組み**もあります。四條畷市で企画や広報、財政といった市全体の視点でまちづくりを進めてきた経験は、必ず活けると信じています。



市役所では、**職務にも誠実で周りからの信頼が厚い職員**として活躍されていたのが印象的でした。職員として身近に市長の仕事を見てきたかと思いますが、私の後継として何を一番大切に引き継ごうと考えていますか。



「対話」によるまちづくりです。まちづくりの主役は、あくまで市民の皆さん。私は、市民や職員の皆さんとの対話をこれまで以上に大切に、皆さんとともに未来を描いていくことをお約束します。

しょう
[発行元] **ぜにや翔後援会**

〒575-0002 大阪府四條畷市岡山 2-1-4 エクセレントカーサ 102
E-mail : zeniyasho2024@gmail.com

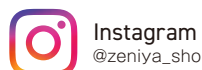
TEL.090-3974-3830

討議資料

ぜにや翔

ホームページにて詳細を掲載中

検索



X (旧Twitter)
@zeniya_sho

公式LINE
@992mqjwo

